

講義コード	1318	科目区分	専門教育科目(子ども生活学専攻)
(フリガナ)	ホイクジツシュウ サン	(フリガナ)	ヤマグチ キョウト・クニヒロ カツヨ
授業科目名	保育実習Ⅲ(前半)	担当教員名	山口季音・国広勝代
英文授業科目名	nursery training Ⅲ		
基準年次(開講期)	4年次(通年)	履修形態	選択(保育士資格必修科目)
曜日/時限/講義室	集中		
授業の方法	実習	授業の方法 (詳細情報)	保育所実習
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	施設保育、障害児保育、通園施設		
授業概要・目的	保育実習Ⅰにおける児童福祉施設での生活体験を基礎として、さらに養護の実践を積み重ねることにより、施設保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。家庭と地域環境にともなう子どものニーズを理解して、子育て支援のための対応策を学び、援助能力を養う。また、援助計画の実践により、職務内容の理解、養護技術の習得に加えて保育士としての専門性を磨いていく。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所以外の児童福祉施設等の役割や機能について、実践を通して理解を深める。 ・家庭と地域の生活実態に触れて、児童家庭福祉及び社会的養護の必要性を理解し、支援のための知識、技術、判断力を身につける。 		
授業計画			
第1回			
第2回	【保育実習】		
第3回	保育所以外の児童福祉施設・その他の実習を行う施設として適当と認められる施設 ……………10日		
第4回			
第5回	《事前》		
第6回	・保育所実習にあたっての心構えを確認する(「保育実習指導Ⅱ・Ⅲ」を受講)		
第7回			
第8回	《実習中》		
第9回	・各施設の方針に従って実習を行う。		
第10回	・保育所実習担当教員による巡回指導を受ける。		
第11回			
第12回	《事後》		
第13回	・保育実習報告会で体験報告をする。		
第14回	・実習の自己評価と外部評価を比較検討し、自己課題を見つめる。		
第15回	・実習を振り返り、「保育実習報告Ⅱ」を作成する。		
教科書・参考書等	《参考書》 畠山倫子著『教育・保育・施設実習』三晃社		
授業で使用する 機器等	なし。		
予習・復習への アドバイス	保育資格科目の内容を再度確認し、予習・復習に役立てること。		
履修上の注意・ 受講条件等	保育士資格必修科目。		
成績評価の基準等	実習園の評価を基にしながら、実習日誌の記録、巡回指導時の学習態度で評価する。 1) 授業に取り組む姿勢(30/100) 2) レポート(70/100)		
メッセージ	授業で学んだことを忘れず、緊張感をもって実習に臨むこと。		
オフィス・アワー	木曜4限		
その他			